チクセツニンジン末

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は淡灰黄褐色を呈し，弱いにおいがあり，味はわずかに苦い.

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，主としてでんぷん粒又は糊化したでんぷん塊及びこれらを含む柔細胞の破片を認め，更にコルク組織の破片，やや細胞壁の厚い厚角組織の破片，師部組織の破片，網紋道管の破片，まれに単穿孔を持つ階紋道管の破片，繊維の破片，繊維束の破片，シュウ酸カルシウムの集晶及びこれを含む柔細胞の破片，黄色～橙黄色の樹脂を認める．でんぷん粒は，単粒及び 2～4 個の複粒で，単粒の径は 3～18μm である．シュウ酸カルシウムの集晶は径 20～60μm である.